

# ～日本の自殺対策のイノベーション を支えるエビデンス～

日時

平成30年 **1月20日**(土)  
**10時～16時**(開場:午前9時30分)

会場

一橋講堂 中会議室3・4

参加費

**無料**

※会場の都合により事前申し込み制です。氏名、所属、連絡先を明記し、下記アドレスまでメールでお申し込みください。

平成29年7月25日に閣議決定された新たな自殺総合対策大綱において、改正自殺対策基本法を踏まえた具体的な施策の枠組みが示されました。本フォーラムでは、これを受けて行われている日本の自殺対策において、そのイノベーションを支えるエビデンスを、広く情報提供いたします。

また、国際的観点から日本の自殺対策を見直すことが重要であるため、基調講演では Jong-Woo Paik 教授（慶熙大学校医科大学）をお招きし、韓国の最新の自殺対策についてお話いただきます。



【一橋講堂】 〒101-8439  
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内  
■ 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線  
神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩 4 分  
■ 東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩 4 分

基調講演者

**Jong-Woo Paik (慶熙大学校医科大学教授)**

司会：本橋 豊 (自殺総合対策推進センター長)

シンポジウム

**日本の自殺対策のイノベーションを支えるエビデンス**

藤原 佳典 (東京都健康長寿医療センター研究所研究部長)  
久保田貴文 (多摩大学准教授)  
上田 路子 (早稲田大学准教授)  
伊藤 次郎 (NPO 法人 OVA 代表)

【主催】 国立精神・神経医療研究センター 自殺総合対策推進センター (JSSC)

【後援】 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (政策科学総合研究事業 H29- 政策 - 指定 - 004)

申込アドレス [jssc@ncnp.go.jp](mailto:jssc@ncnp.go.jp) (自殺総合対策推進センター)

使用言語：英語